

登録コード	E4370900	開講年度	2026				
授業科目	初等体育科指導法基礎A					担当教員	岩田 靖
英文授業名	Foundation of Curriculum and Method in Elementary Physical Education A					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限		対象学生
講義室	共通教育 6 1 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	我が国における体育の基本的な考え方の変遷について学習指導要領の推移をもとに理解する。また、現在の体育の考え方について、その目標・内容（教育課程および学習内容）に関する基本的な考え方について知り、よい体育授業の構成方法について学習する。						
(5)授業計画	第1回： オリエンテーション 第2回：体育の考え方の3つの段階 戦後体育の変遷① 昭和20年代から40年代 第3回：戦後体育の変遷② 昭和50年代から平成20年の学習指導要領 第4回：体育の目標論と学習内容論 第5回：小学校の教育課程（運動領域）の構成論 領域構成の変化 第6回： よい体育授業の基礎的条件① 体育授業における教師の四大行動と授業の勢いと授業の雰囲気を生み出す条件 第7回：よい体育授業の内容的条件Ⅰ 教材づくりの基本的条件 第8回：単元教材と下位教材 第9回： 運動領域の特質に応じた体育授業① 体づくり運動 第10回：運動領域の特質に応じた体育授業② 器械運動 第11回：運動領域の特質に応じた体育授業③ 陸上運動 第12回：運動領域の特質に応じた体育授業④ 水泳 第13回：運動領域の特質に応じた体育授業⑤ ボール運動 第14回：よい体育授業の内容的条件Ⅱ 子どもの学習意欲を高める方法的工夫 第15回：授業評価と観点別学習評価について 定期試験						
(6)成績評価の方法	定期試験によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	1）戦後の体育の考え方の変遷について理解している、2）体育の目標論・内容論、および教育課程について理解している、3）よい体育授業の条件について理解している、4）運動領域に応じた授業づくりの工夫について理解している、5）よい体育授業を支える教材づくりについて理解している。これらについてすべてよりよく理解できていれば「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目を満たしていれば「やや上にある」、2項目まで理解できていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	教科書によって講義内容に対応した部分についての理解を深めること。						
(9)履修上の注意	履修できるコースが指定されている。						
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	M 3 0 9 （内線4151） iwataya@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	岩田靖ほか編（2018）初等体育科授業づくり入門、大修館書店 （生協・旭会館で購入すること）						
【参考文献】	文部科学省（2017）小学校学習指導要領 文部科学省（2017）小学校学習指導要領解説・保健体育編						